

未来にはばたけ 希望の九小



令和5年1月10日（火）
府中市立府中第九小学校
校長 生井 信太郎

新年にあたり

校長 生井信太郎

新年あけましておめでとうございます。

令和5年、2023年が皆様にとりまして輝かしい1年になりますことを、心よりご祈念申し上げます。

冬休みが終わりました。子供たちはどのような過ごし方をしたでしょうか。普段なかなか会えない人と会った子もいたでしょう。また、家族でゆっくり過ごす時間をもてた子もいたと思います。勉強に打ち込んだ、という子もいたでしょうね。いずれにしろ良い冬休みを過ごしたことと思います。

「一年の計は元旦にあり」と言います。学校でも学期の初めに子供たちが今学期の目標とそのための手立てを書いて教室に掲示する、といったことをよくやります。これをお読みの皆さんも経験があるでしょう。これ、案外大事です。なぜなら、①目標を考え、②そのために何をするかを決め、③それを紙に自らの手で書き、④目につくところに掲示する、という一連の動きをすることそれ自体で、目標を意識することができるからです。さらに毎日それを目にすることで、さらに意識に刻み込まれます。意識すれば行動に繋がります。行動すれば目標を達成する可能性が高まります。大人が手帳の目につくところに、目標や達成のための手段を書き記すのと同じことですね。ですから子供達には真剣に考えてほしいし、目標を達成するために行動することの大切さを伝え続けたいと思っています。

1月21日（土）の道徳授業地区公開講座では、「地域と共に助け合う子育て」をテーマに、ハイリハキッズ代表の中村千穂さんをお招きして講演会を行います。昨年度、府中市の教員を対象にした研修会でご講演いただき、その素晴らしい内容に、聴いた者全てが感動し、勇気づけられました。本校の保護者の皆様にもぜひ聴いていただきたいと思い、お招きした次第です。どなたにも得るものがある内容です。保護者、地域の皆様、ぜひお越しください。別途ご案内を出します。

「1月は行ってしまう。2月は逃げてしまう。3月は去ってしまう。」とよく言われるのですが、これは本当にそうです。3学期はあっという間に終わってしまいます。一日一日を大切に、1年間のまとめをしっかりと子供たちを次の学年に送り出したいと思います。

本年も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。